



経田っ子



10月の行事予定

1	月	
2	火	集金振替日 学習参観・学校保健委員会 15:40下校
3	水	【育】常任役員会
4	木	
5	金	委員会活動
6	土	
7	日	区民体育大会
8	月	体育の日
9	火	給食の日
10	水	
11	木	【育】うまいもん委員会
12	金	地域探検ウォークラリー (2~4限)
13	土	
14	日	
15	月	研修会のため13:00下校 (2年1組は15:00下校)
16	火	特別支援学級合同学習 5年ふるさと発見バス
17	水	就学時健診 (1~4年、6年 12:45下校) (5年 14:30頃下校)
18	木	
19	金	クラブ活動 給食の日
20	土	市民文化祭
21	日	市民文化祭 (4年ステージ発表)
22	月	
23	火	尿検査 6年東部中学校オープンスクール 【育】広報委員会
24	水	尿検査予備日
25	木	
26	金	
27	土	経綸祭前日準備 うまいもん委員会
28	日	経綸祭 1~4年 14:20下校 5、6年 14:50下校
29	月	振替休業日
30	火	
31	水	2年ふるさと発見バス

皆様のご協力をいただき、運動会も無事終わることができました。グラウンド整備や終了後の片付けを手伝っていただいたり、子供たちの競技や演技に対し、たくさんの温かいご声援をいただいたりと感謝の気持ちでいっぱいです。大きな行事を終えて、子供たちはさらにたくましくなったように思います。2学期はまだ行事が続きます。引き続き、子供たちの笑顔と成長を楽しみに、ご支援いただきますようよろしくお願いいたします。

9月の
にっこりアルバム



9/18 運動会



実りの秋

9/19 (水)

さわやかな秋晴れの下、5年生が
稲刈りをしました。



猛暑、酷暑の夏が終わったかと思うと、急に朝夕めっきり涼しくなり秋の気配を感じる今日この頃です。夏休みから練習に励んできた運動会も赤と白が競技と応援の優勝を分け合う結果となり、それぞれに満足した笑顔が見られました。さて、次は経綸祭です。キラキラ輝く子供たちの瞳と笑顔に期待します。

ザクッと稲刈り



5年生が学校田でたわわに実った稲を手刈りしました。子供たちは初めての経験で、「ザクッと切るのが気持ちよかった」「楽しかったけど疲れた」などの感想を言っていました。千歯こきでモミがサクサクっととれる脱穀も体験しました。思った以上に力を入れなくてはならないことも実感しました。11月には、お世話になった中村さんやJAの方々をお招きして、「ジャンボのり巻き作り」を行います。今から楽しみです。



今年の作付けを「富富富」でできないかとお願ひしていたのですが、まだ時期早々で無理でした。いずれは富富富を栽培・収穫して「ふふふ」と喜べる日が来るといいですね。私も富富富を購入して食べましたが、もっちりしてとてもおいしかったです。その時思ったのですが、富富富の無洗米を商品化したらどうかと。洗う手間も省けるので、ネーミングは「うふふ」。「富富富とうふふ」のセット販売にしたら、富山ブランドの人気のますます上がると思うのですが。



いつするの？今から



子供を注意する時、同じ言葉を言っても言う人によって反省の仕方が異なることはありませんか？世の中にはオーラを放つ人がいて、一つ一つの言葉に重みがあり上手に子供たちを望ましい方向へ導く先生です。

放課後の職員室。ある若い熱血教師のそばに通称説教椅子があり、やんちゃ坊主が座っていました。そこに座るのは相当な悪さをした証拠です。熱血教師はああだこうだと注意しますが、聞く耳をもたない感じ。そこへいつも穏やかなおじいさん先生がつかつかとやってきました。ついに堪忍袋の緒が切れたか？と思って耳をそばだてて様子を伺うと・・・

「君は、いつからそんなことをする子になったかね。」と静かに尋ねました。少年は一瞬、先生を見てから下を向いたまま黙ってしまいました。そのうちに静かに涙を流し始め、さらに長い沈黙が続く中、先生は、「いつから、元の君に戻れそうかね？」と尋ねました。「今から」と答えました。「そうか、気をつけてお帰りなさい。」おじいさん先生は怒ることもなく、わずか二つの言葉で君がいい子だという事は知っているよと伝え、少年から反省を引き出し、信頼関係を結んだのです。

数日後、熱血教師は早速この言葉を拝借しました。「君はいつから、こんなことをする子になったのかな。」「今年から」そこまでは良かったのですが「いつから元のあなたに戻れそうかな？」「来年から」「う～ん」想定外の反応に軽いめまいを感じましたが、その後も困った時には大切に使い続けたそうです。

私も使う機会がありました。「いつから優しい元のあなたに戻れるかな？」「明日から」「よし、じゃあね」

ようこそ赤ちゃん



5年生が赤ちゃんと触れ合ったり、命が誕生する尊さを学んだりすることを通して、かけがいのない命を大切にしていこうとする心情を培う授業が行われました。赤ちゃんを前にするとみんな笑顔！笑顔！妊婦体験も行いお母さんの大変さを実感した子もいました。お母さんに「一番大変なことは何ですか？」「寝ぐせはつかないのですか？」などの質問もして、お母さんの愛情を感じ取ったり、自分の乳児の頃を想像したりしている様子が伝わってきました。



なぞかけ 赤子の手 とかけて 紅葉を待ちわびる人 ととく その心は もみじみた-い